

2013 年度春学期 貴重書・特別資料展示

イタリア・ルネサンスの巨匠たち

～ラファエロ、ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ～



フィレンツェの街並み（中央はメディチ家礼拝堂）

獨協大学図書館 2階 貴重書展示コーナー

2013年5月27日（月）～7月6日（土）

【はじめに】

2013 年は、1615 年にローマに到着し、日本とイタリアの友好の先駆けとなった支倉常長率いる慶長遣欧使節団の出帆 400 周年にあたります。また、2016 年には日伊外交関係樹立 150 周年を迎えます。このことを記念して、現在イタリア大使館では、「日本におけるイタリア 2013」として、さまざまなイベントを主催しています。

イベントは国立西洋美術館でのラファエロ展を皮切りに、レオナルド・ダ・ヴィンチ展(東京都美術館)、ミケランジェロ展(国立西洋美術館)が開催され、イタリア・ルネサンス期の 3 人の巨匠の傑作数点が日本で初公開されます。

そのほかにも、ヴェネツィアのフェニーチェ歌劇場公演、ミラノ・スカラ座のオペラと同バレエ団の公演、そして、トリノ王立歌劇場の公演が予定されています。ジュゼッペ・ヴェルディ生誕 200 年を記念する年に、イタリアの名高い歌劇場のうちの 3 つが来日することになります。

このイベントにちなんで、獨協大学図書館でも利用者みなさんにイタリアの文化に触れていただきたく、所蔵の特別資料のなかからイタリア・ルネサンス 3 大巨匠の展示を実施します。

第 1 回展示：ラファエロ

5 月 27 日(月)～6 月 8 日(土)

ラファエロ・サンティ(Raffaello Santi)は 1483 年に中央イタリアの都市国家ウルビーノ公国で、画家であり宮廷詩人であったジョバンニ・サンティ(1494 没)の子として生まれました。盛期ルネサンスの三大巨匠の一人であり、ルネサンス古典様式のもっとも純粋で優美な体現者、イタリアの明晰と調和の結晶、西欧アカデミズム＝古典主義絵画の祖とみなされています。

16 歳ごろにペルーシアの画家ペルジーノの工房に入門したとされ、前古典的様式を急速に吸収、天性の絵画的資質を発揮しました。1504 年の秋ごろには当時の芸術の中心地フィレンツェに移り、さらに 1508 年の末には、教皇ユリウス 2 世に招かれてローマに移りました。1520 年に 37 歳の若さで世を去るまでの 12 年間、バチカン宮廷画家としてユリウス 2 世とレオ 10 世の 2 代の教皇に仕え、時代の寵児として画業の頂点を極めました。バチカン宮殿の「署名の間」の壁画、とくにルネサンス人文主義の象徴的絵画といふべき『アテネの学堂』は、壮大な建築空間と多数の人物群像の完璧な統一と調和を実現して、古典様式の規範とされました。

国立西洋美術館で開催中のラファエロ展(2013/3/2～6/2)では、ペルーシア時代の作品『聖ゲオルギウス』(パリ ルーブル美術館)、フィレンツェ時代の『大公の聖母』(フィレンツェ ピッティ(パラティーナ)美術館)が展示されていますが、それにちなんで本学所蔵の『ラファエルロ素描集』から、2 点の習作の複製画を展示します。

ラファエロは生涯に多くの聖母子像を描きましたが、この素描でも、優雅でやさしい表情をみることができます。この素描と、国立西洋美術館で展示されている絵画を見比べてみてはいかがでしょうか。

【展示資料】ラファエルロ素描集 岩波書店 1984 年 資料 ID:185800475

第 2 回展示：ダ・ヴィンチ

6 月 10 日（月）～6 月 22 日（土）

レオナルド・ダ・ヴィンチ(Leonardo Da Vinci)はイタリア・ルネサンス期最大の画家、発明家、科学者であり、万能の天才として知られています。1452 年にフィレンツェ近郊の村ヴィンチの公証人の私生児として生まれ、ヴェッロッキオの工房で修業したのち、ミラノのルドヴィコ・スフォルツァに仕えて、絵画制作、兵器発明、祝典演出、土木建築設計、人体解剖などを手がけました。ルドヴィコ失脚後はイタリア各地を遍歴し、晩年にはフランソワ 1 世に招かれてフランスに移り、1519 年に 67 歳の生涯を閉じました。

東京都美術館で開催中のレオナルド・ダ・ヴィンチ展(2013/4/23～6/30)では、ミラノのアンブロジアーナ図書館・絵画館が所蔵する『アトランティコ手稿』の一部が展示されていますが、本学ではこれと関係の深いフランス学士院図書館蔵の『パリ手稿』の複製本を展示します。

手稿とは、ダヴィンチが生涯に書き綴ったノートのことです。絵画、彫刻、建築ばかりでなく、天文、気象、物理、数学、解剖、兵器、飛行のための装置など多彩な分野の内容が、鏡文字(左右を反転させた文字で、鏡に写すと正確に読める)で記録されています。

『パリ手稿』は 12 冊からなっていますが、もともとは『アトランティコ手稿』と一緒に、アンブロジアーナ図書館に所蔵されていました。ところが、1796 年にナポレオンに収奪され、ナポレオンの没落後に『アトランティコ手稿』はミラノに返還されましたが、『パリ手稿』はフランスにとどまることになりました。

展覧会と本学図書館で、2 つの手稿に思いをはせるのも面白いのではないのでしょうか。

【展示資料】パリ手稿 岩波書店 1988 年-1991 年 請求番号:TB-3-C(1) ほか

第 3 回展示：ミケランジェロ

6 月 24 日（月）～7 月 6 日（土）

ミケランジェロ・ブオナローティ(Michelangelo Buonarroti)はイタリア・ルネサンス晩期に長らく活躍した彫刻家、画家、建築家、詩人です。14 歳のときからメディチ家の保護を得て、彫刻家ベルトルド・ディ・ジョバンニに師事し、そのかたわらメディチ家収集の古代彫刻を研究したことで、彫刻家として活躍しました。代表作に、『ピエタ』(サン・ピエトロ大聖堂)、『ダビデ』(フィレンツェ アカデミア美術館)があります。

ミケランジェロはまた画家として、ヴァチカン宮殿のシスティーナ礼拝堂に、「創世記」をモチーフとする天井画と、『最後の審判』の壁画を描きました。国立西洋美術館で秋に開催されるミケランジェロ展では、この壁画の下絵素描(習作)が展示される予定です。

それにちなんで、本学所蔵の『ミケランジェロ・ヴァチカン壁画』から、『最後の審判』の一部分を紹介します。

【展示資料】ミケランジェロ・ヴァチカン壁画 第 2 巻 講談社 1999 年 資料 ID:393665166

【イタリア・ルネサンスの参考文献】

ルネサンス期の美術や人物については多くの資料を所蔵していますが、近刊から紹介します。

西洋美術 101 鑑賞ガイドブック / 神林恒道, 新関伸也編著 / 三元社, 2008.9

請求番号: 702.3-Ka48s 3 階和図書

ビジュアル世界史 1000 人 / 宮崎正勝監修 / 世界文化社, 2012.9

請求番号: 280.4-V82-1, 280.4-V82-2 1 階和図書

ルネサンス人物列伝 / ロバート・デイヴィス, ベス・リンドスミス著; 和泉香訳 / 悠書館, 2012.7

請求番号: 283-D46r 1 階和図書

ルネサンスとは何か。 / ペン編集部編 / 阪急コミュニケーションズ, 2012.11

請求番号: 702.05-R27b 3 階和図書

【さらにイタリアを知るために・・・】

上記の参考文献以外にも、イタリアに関する資料を手にとりご覧ください。

イタリア世界遺産と歴史の旅：プロの添乗員と行く 改訂版 / 武村陽子著 / 彩図社, 2012.10

請求番号: 293.7-Ta63i2 1 階和図書

イタリア人と日本人、どっちがバカ? / ファブリツィオ・グラッセツリ著 / 文芸春秋, 2012.9

請求番号: 302.37-G77i 1 階文庫新書(和)

イタリアを旅する 24 章 / 内田俊秀編著 / 明石書店, 2012.4

請求番号: 302.37-U14i 2 階和図書

なぜイタリアの村は美しく元気なのか：市民のスロー志向に応えた農村の選択 / 宗田好史著 /

学芸出版社, 2012.8 請求番号: 688.237-Mu33n 2 階和図書

イタリア文化事典 / イタリア文化事典編集委員会編 / 丸善出版, 2011.12

請求番号: 302.37-I87b 2 階参考図書

また、この春から3階カウンター前に新設された『視聴覚資料特集コーナー』では、『記念年を迎えた作曲家特集 I』として、今年、生誕 200 年を迎えるヴェルディのオペラ作品を集めています。(2013 年 4 月 15 日～2013 年 7 月 31 日)

【関連ホームページ】

在日イタリア大使館

http://www.ambtokyo.esteri.it/Ambasciata_Tokyo/

イタリー・イン・ジャパン(日本におけるイタリア 2013 関連イベント情報)

http://italyinjapan.com/index_jp.html

獨協大学 文化施設の無料(割引)制度

http://www.dokkyo.ac.jp/daigaku/daigaku05_j.html

本学学生は、国立西洋美術館開催の展覧会の割引を受けられます。

